

おにぎり石の伝説

④ 時間目

名前

年 組 番

まとめり3の表現読みを通して、登場人物の気持ちをつかもう。

① 先生の音読を聞きながら、会話文に記号を入れましょう。(シ(真)、一(一成)など)。

② 会話文にはどのような気持ちが表示されているか、書きこみましょう。

③ 地の文の次の部分には真のどのような気持ちが表れているか、書きましょう。

わざと水を差すようなことを言った

こんなのって久しぶりだった

新たな気持ちになって見てみると

クラスメイトの喜びに邪魔まし
△ 静にさせようとする気持ち

騒動で変になっていたクラスめ
もとに戻ってほしかった気持ち

伝説の変なとりつかれた気持ちが消え
△ 静な気持ちになってみると

④ 最後に一成はどんな返事をしたかを考えて書きましょう。

真 「ありがとう。確かにほくたち、何かにとりつかれていたのかもしれない。」

一 たしかにそうかもしれぬが、ぼくの家の石のことでおかしなことが
だてほくたちの力で伝説を消すさせたのだわい。

など

⑤ 役割を決めて、(表現読み)をしましょう。表現読みをくり返したり、ビデオに
とって振り返ったりしながら、書きこんだ気持ちをよりよくしてみましょう。

⑥ 一成の家を出たクラスメイトはどんな会話をしているでしょうか。

例 なぜわたしたちは夢中になっただろう(自分たちへの疑問)

あの石の何が良かったのか(石への疑問、魅力)

真と一成は知っていたのか(二人への疑問) など